

京都デザイン賞

入賞・入選作品

# 新しい 京都のデザイン



KYOTO  
DESIGN  
AWARD  
2012

[www.kyoto-design.net/award.html](http://www.kyoto-design.net/award.html)

社団法人 京都デザイン協会



社団法人京都デザイン協会は、1967年5月「21世紀への新しい波を京都から」を設立趣旨として、京都に活動基盤をおく、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー及びデザイン関係者を結集し、デザインを通じて京都の地域産業の振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立し活動を続けてまいりました。

「京都デザイン賞2012」入賞・入選作品は、2009年度の第1回以来、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを一貫した目的として公募し、応募された作品の中から審査により厳選された作品です。

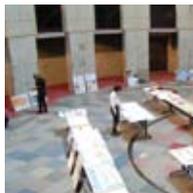
第4回目の今回へは85点の作品応募をいただきました。審査基準は「斬新な京都のイメージを創出している」「独創性がある」「使いやすい配慮がなされている」「新素材、技術に挑戦している」「環境への配慮がなされている」を念頭に、一次審査を協会会員、二次審査を外部審査員により実施し、28点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞 大賞1点、京都府知事賞2点、京都市長賞2点、京都商工会議所会頭賞2点、学生賞1点を選出させていただきました。

ここに「京都デザイン賞2012」の入賞・入選作品を選出し展示させていただくことは、出品者のもとより、後援、協力、協賛をいただいた多くの企業・団体・個人のみなさまのご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは「京都デザイン賞」で選ばれた優れた作品を、「京都発21世紀の大きな波」として日本、世界へ向け発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2012年10月

主催者代表 社団法人京都デザイン協会  
理事長 奈良 磐雄



## 杉崎 真之助 (グラフィックデザイナー・大阪芸術大学教授)

実用化される前の作品、実際の製品、そして学生の作品が、渾然となって広い審査会場に並べられている。これが京都デザイン賞のダイナミズムだ。毎年、応募作品を力強いものに鍛えあげていく。

奥深いイノベーション、という考え方はどうだろうか。審査の指針の1番目に「斬新な京都のイメージを創出」と書かれている。文化や技術の蓄積の上に斬新なデザインを生み続けていく歴史が、京都なのかもしれない。

第1分野から京都府知事賞を獲得した「点字紙のブックカバー」は、実際に使用された点字紙を使っている。ブックカバーをつけた本の読者は、点字紙の使用者の存在感をカバーの手触りによって感じる。この作品には、造形だけではなく、つながっているという「気づき」がデザインされている。

第1分野は、大きく捉えるとコミュニケーションデザインのカテゴリーである。製品やサービスを伝えるために重要なロゴやブランディング、ユーザビリティやソーシャルな視点のデザインなど、受賞作のようにもっと幅広い作品が集まることを期待したい。

## 滝口 洋子 (京都市立芸術大学准教授)

今年も京都の伝統的基幹産業である第2分野(ファッションデザイン、テキスタイルデザイン、キモノ)から知事賞が選ばれたことは大変嬉しく思っております。

「風はらむ絹衣」は着物の地柄のちりめんを素材に和装の特徴である直線裁ちを活かした現代的な衣裳です。和装洋装といったジャンルを超越しており、今着ている服の上に羽織るだけでも独特の世界観が漂います。一見個性が強くなる人を選ぶかのように、全く逆に性別年齢を問わず誰もが着こなせる点は素晴らしい。京都デザイン賞にふさわしい作品だと思います。

第2分野の他の作品も例年より高レベルな印象を受けましたが、入賞に際しては作品の背景を伝えるプレゼンテーションに工夫が必要でしょう。

京都デザイン賞も4回目となり、回を重ねるごとに「京都らしさ」について、また「新しさ」や「機能性」について深く考察されたさまざまな分野のデザインが選ばれてきました。これらの入賞・入選作品からこれからのデザインの目指す方向が見えてきたように感じられます。

## 北條 崇 (プロダクトデザイナー・京都造形芸術大学プロダクトデザイン学科 准教授)

例年通り多岐にわたるクオリティの高い作品が多数集まり、審査に苦労しました。

この賞は、提案部門と作品および製品部門があります。どちらにも共通しているのが、実際に「商品」として流通や利用をしようとしているという事です。

京都デザイン賞では、商品としてのクオリティを維持した上で、さらに新しいチャレンジをされている作品を各賞として選定をしています。これは、当たり前のように非常に難しい事です。

「点字紙のブックカバー」は一見素朴な作品ですが、商品の完成度とともにそれを作られるストーリーの豊かさが評価されました。また、「azuby」は長年のステンレス加工技術と伝統的な技法を上手く融合して新しい市場を開拓しようとしています。「暗灯野」は照明器具と建築との融合を図るプロダクトとして、斬新な取り組みをしています。

入賞を選んだ作品にも光るポイントが多くあり、審査をしながら考え方や仕上げ、または見せ方がもう少し良ければ、と悔やまれるものが多数ありました。

デザインは単にカタチが良いだけでは無く、全ての調和が求められます。京都らしい調和の実現と、新しいチャレンジを提案する場として京都デザイン賞を活用下さい。

## 新井 清一 (建築家・京都精華大学教授)

今回の京都デザイン賞審査を終え、斬新な京都のイメージを創出しているか、独創性があるか、素材、環境への配慮がなされているか、プログラムへの提案がなされているか等が私の審査の判断基準になった様に思う。

そのような考えを密かに持ちながら、1つ1つの作品と向かい合った。

例年に比べ現物の提示を伴った作品が少なかった様に思える。反面、パネルの中に敷地のコンテキスト、機能の概要、デザインのコンセプトを現物が提示できないが故、A-1のパネルの中に全ての情報を混入しなければならぬ建築の作品が多かったと思う。大賞に選出された萬福寺第二文華殿の作品は、気候/時間によって移る宝物を展示する空間である。得てしてこのような空間は、外部との関連を断絶するのが常であるが、自然光を巧みに取り入れ工芸的なテキスタイルが醸し出す雰囲気とともに唯一無二の空間を創造している。「風はらむ絹衣」は素直に欲しいと思えた。「暗灯野」は、フレームと景色の構成が円通寺の借景シーンを思い起こさせる。学生作品部門「浸透する水景」は、京都と云う都市の中で目立たないが、人々の身近で感じられる景色を生み出すのではないかと。「夢虹量」も陰影礼賛と通ずる商品であろう。

多様なジャンルのデザイン提案が京都デザイン賞の場に於いて審査されるのもこの賞の特徴であろう。結果として、いろいろ部門より京都デザイン賞が選出された2012年の審査会であった。

## 中島 信也 (CMディレクター・株式会社東北新社取締役)

地域のデザイン振興には大きな意義が見出されており、各地で様々な取り組みがなされています。ただ、ややもするとクリエイター同士の土気発揚にとどまっているものも少なくありません。「京都デザイン賞」の場合は、事業者からの応募が可能であり、現実の産業として活かされているデザイン活動に触れることができます。デザインによる地域活性化をめざすとき、クリエイターと、リアルな産業側との連携があって初めて力が生まれます。今回の大賞作品もまさにクリエイターと事業者との共同作業の賜物でした。

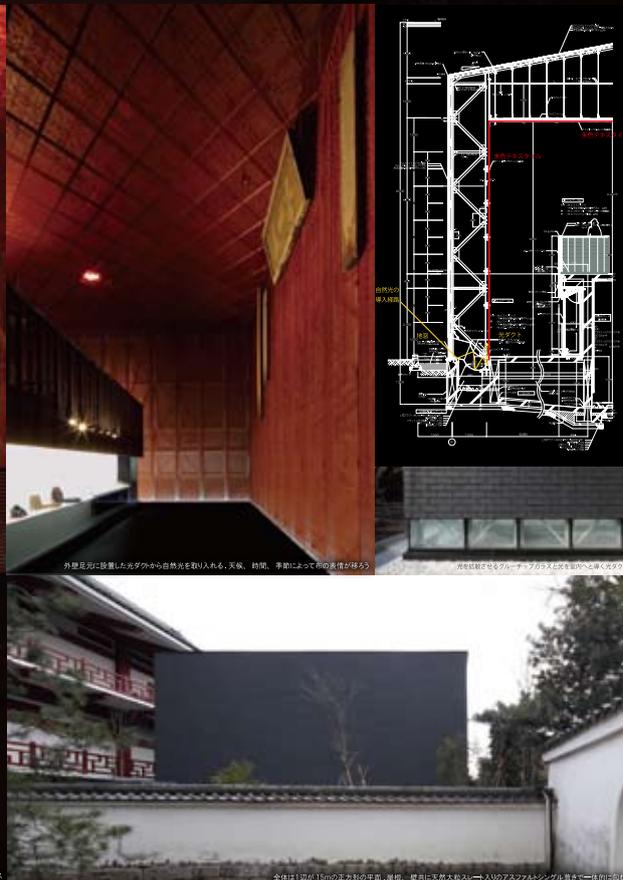
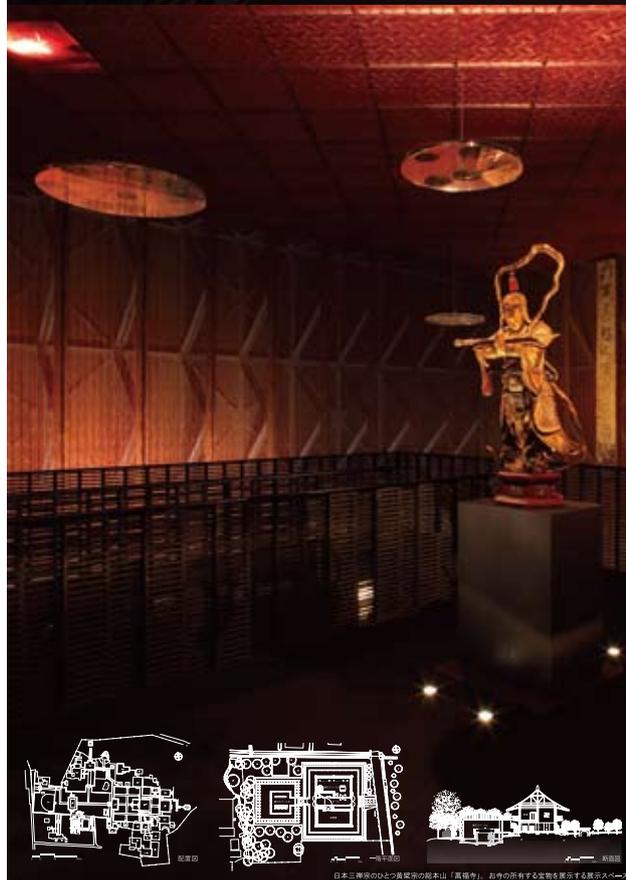
その一方で「提案作品」という受け皿があることも素晴らしいと思いました。、問題を解決し、人々のよりよい生活を描こうとする試みがなくなってしまうと、とても窮屈なデザイン賞になってしまいます。ただ、ここに挑む学生たちにはもっともっと頑張ってもらいたい、と感じました。大変な伝統を持つ京都ですが、問題もきつと抱えているはず。それに立ち向かう力がデザインやアートにはある、という視点で、斬新な提案があらわれている場になれば、この賞の価値もさらに高まるであろう、と思いました。



大賞

### 黄檗山萬福寺第二文華殿

株式会社 竹中工務店 森田 昌宏 + 足立 裕己





B部門 京都府知事賞

絹衣 (きぬころも)

KIMONO 文 野崎 文子



A部門 京都府知事賞

点字紙のブックカバー

Lab.502 宗井 優



B部門 京都市長賞

azuby

株式会社 岩城製作所



B部門 京都市長賞

上賀茂の家

長坂 大 / Mega



B部門 京都商工会議所会頭賞

暗灯野

イン・エクステザイン 矢部 直輝

(製作協力: 三浦照明株)



B部門 京都商工会議所会頭賞

京色パステル

王冠化学工業所





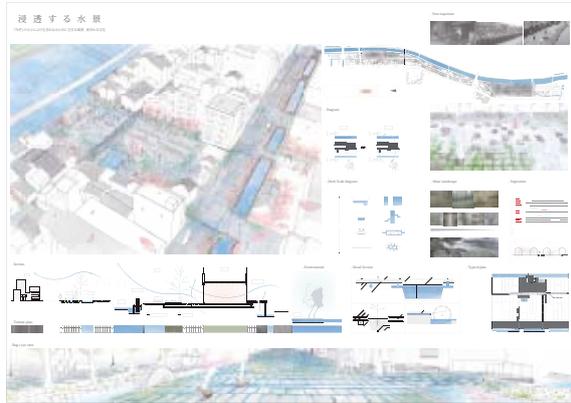
## A部門 学生賞

### 浸透する水景

(「みぞ」の大小により生まれる水と共に生きる風景、育まれる文化)」

加藤 健司・京兼 史泰・坂上 優

(芝浦工業大学 大学院)



#### ■ 部門

- A 提案部門……………製品化・実用化することを前提としたもの。
- B 作品および製品部門……既に製品化・実用化されているものに限定。

#### ■ 分野

- 第1分野…グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション・パッケージデザイン
- 第2分野…ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ
- 第3分野…プロダクトデザイン
- 第4分野…ディスプレイ・インテリアデザイン・建築・ランドスケープ

### A部門第1分野 入選

### 古都まいまい

大浴 史織

(京都嵯峨芸術大学)



### A部門第1分野 入選

### 京都あぶらとり紙

杉浦 江美

(学校法人創造社デザイン専門学校)

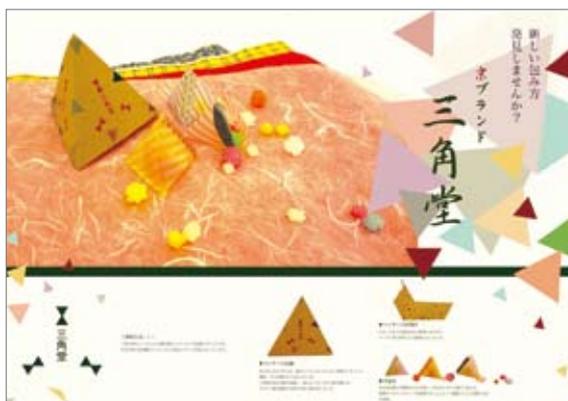


### A部門第1分野 入選

### 三角堂

藤田 久仁香

(京都嵯峨芸術大学)



### A部門第1分野 入選

### 折りメモ

松井 啓恵

(京都嵯峨芸術大学)



A部門第3分野 入選

Koshirae

KENKE DESIGN 山口 健介



A部門第3分野 入選

御にほひ立『立』

株式会社 松栄堂



A部門第3分野 入選

OWAN

studio mufufu



A部門第3分野 入選

和傘ストロー

山本 朝美

(京都嵯峨芸術大学)



A部門第4分野 入選

鴨川美術館

石岡 愛

(京都精華大学)



B部門第1分野 入選

小児用絵本 — 病院・クリニック向け販売促進ツール—

株式会社 島津製作所

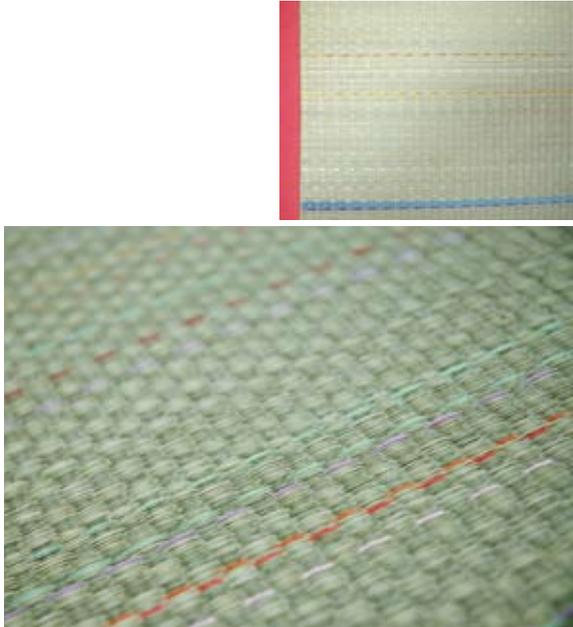
検査が怖くなる 魔法の絵本





B部門第4分野 入選

夢虹蜚量  
磯垣 昇



B部門第4分野 入選

京都東宝公衆ビル / ロイヤルパークホテル ザ 京都  
株式会社竹中工務店  
梅田 善愛 + 谷地 建児 +  
川原村 真幸



B部門第4分野 入選

正面にある家  
中西 ひろむ + 藤田 慶



B部門第4分野 入選

歴史と伝統を未来に繋ぐリノベーション [京都センチュリーホテル]  
日建スペースデザイン  
藤井 崇司



■ 主催  
(社) 京都デザイン協会

■ 後援  
京都府  
京都市  
京都商工会議所  
(公財) 京都産業 21  
京都府中小企業団体中央会  
京都市立芸術大学  
京都意匠文化研究機構  
京都新聞社  
NHK 京都放送局  
KBS 京都  
エフエム京都

■ 協力  
(株) 染織と生活社  
(株) 田中直染料店  
府庁旧本館利活用応援ネット  
(株) リーフ・パブリケーションズ

■ 賛助会員  
市田 (株)  
(株) イヤタカ  
(株) エクザム  
(有) エム・イー・エフ  
(株) エヌ・シー・ピー  
(有) 画箋堂  
(株) 京都銀行  
京都信用金庫  
京都中央信用金庫  
京都百貨店協会  
(株) 尚雅堂  
(株) 聖護院ハッ橋本店  
(株) 竹尾大阪支店  
(株) 千總  
朝陽堂印刷 (株)  
(株) パウハウス  
(株) パルテごとう  
富士ゼロックス京都 (株)  
平和紙業 (株)  
(株) 丸二  
(株) 友愛ビルサービス  
山内紙器 (株)  
六和証券 (株)  
(株) 若林佛具製作所

■ 協賛  
京都造形芸術大学  
京都外国語大学  
京都精華大学  
京都芸術デザイン専門学校  
京都嵯峨芸術大学  
大阪成蹊大学  
(株) 祇園平八  
イワモトエンジニアリング (株)  
(株) 高橋工務店  
刀剣 開陽堂  
株式会社 俄  
松井建設 (株)  
(株) アートバンク  
(株) アイビー長崎

aRC FURNITURE POINT  
薨技塾 徳舛瓦店 (有)  
(株) かわな工業  
北白川天然ラジウム温泉  
京菓子司 一善や  
NPO 法人 京都伝統工芸情報センター  
弁護士法人 佐渡春樹法律事務所  
(株) 穴栗住建  
ターナー色彩 (株)  
(株) ターレンスジャパン  
(株) 大京リアルド  
(有) ティアック  
(株) TNC プライダールサービス  
(株) ナカタニ工務店

(株) 西村工務店  
(株) フクナガ  
ホルベイン工業 (株)  
BAL 中澤 (株)  
まつもとクリニック  
(株) マルニ木工  
エスリンク  
オリックス・ファシリティーズ (株)



社団法人 京都デザイン協会

〒 604-8247 京都市中京区塩屋町 39 (三条通小川北西角)  
TEL : 050-3385-8008 FAX : 050-3385-8009  
URL : <http://www.kyoto-design.net/>  
mail : [info@kyoto-design.net](mailto:info@kyoto-design.net)